

「救いたい心」をつむぐコミュニケーションマガジン

# 赤十字 NEWS

Japanese Red Cross Society NEWS

<https://www.jrc.or.jp>

令和3年7月1日(毎月1日発行) 赤十字新聞 第974号 昭和24年9月30日 第三種郵便物認可

JULY 2021 NO.974

# 7



わたしも赤十字 寄付の協力者 相沢正雄 (あいざわ・まさお) さん【P.4でご紹介】

## 特集

水害発生時のシミュレーション

# 「家族で避難」

赤十字の最新情報を、SNSでチェック!



赤十字新聞 編集・発行/日本赤十字社 広報室 〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3 TEL: 03-3438-1311 一部20円 赤十字新聞の購読料は会費に含まれています。

人間を救うのは、人間だ。

 **日本赤十字社**  
Japanese Red Cross Society



# 「家族で避難」

## 水害発生時のシミュレーション

令和3年5月20日から市町村が発表する「避難勧告」が廃止になり「避難指示」に一本化されました。今回は新しい避難情報について確認しながら、実際の事例を参考に、家族で避難する際のお役立ち情報をお届けします。

毎年発生している「大雨災害」で、避難のタイミングを誤り、逃げ遅れてしまうことがないように、自治体の発令する避難情報に注意しながら早め早めの避難行動をとることが重要です。とくに高齢者や小さい子どもがいる場合の避難や、家族同然の「ペット」がいる家庭の避難についても、あらかじめ備えておくことが大切。架空の家族の行動から、避難のポイントを見てみましょう。

【シミュレーションの家族構成】

夫婦 30代 / 子ども 5歳程度 / 祖父母 65歳以上



### ペットの同行避難が可能な避難所もあります

家族同然のペットを放っておかず、逃げ遅れてしまう方や、ペットを家に残して一時的に避難したことを後悔し、ペットを助けようと危険を冒す方がいます。東日本大震災以降、環境省はペットとの同行避難を推奨し、各地方自治体にも避難所でのペット受け入れの整備を呼び掛けています。飼主は普段からペットと避難するための備えをし、**居住地の行政に同行避難の際の注意事項や受け入れ可能な避難先の確認**をおこなってください。



### 「長靴で避難」は危険です

大雨が降っている時の避難は、**長靴ではなく履き慣れた運動靴や紐靴で**。もしも避難中に長靴の高さよりも水位が上がってきたら、長靴の中は水バケツ状態に。重たくて足が動かしづらく、かえって危険です。また、**サンダルなどの脱げやすい靴もNG**です。歩きながら靴が脱げて流され、靴なしで歩く危険な状態になります。



### ●新しくなった「避難情報」

警戒レベル	新たな避難情報等
5	緊急安全確保
～警戒レベル4までに必ず避難!～	
4	避難指示
3	高齢者等避難
2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	早期注意情報(気象庁)

これまでの警戒レベル4は「避難指示」に一本化。「避難指示」が発令されたら速やかに危険な場所から全員避難しましょう。また、警戒レベル3は「高齢者等避難」とされました。高齢者に限らず、避難に時間や支援を要する場合はこの時点で避難しましょう。

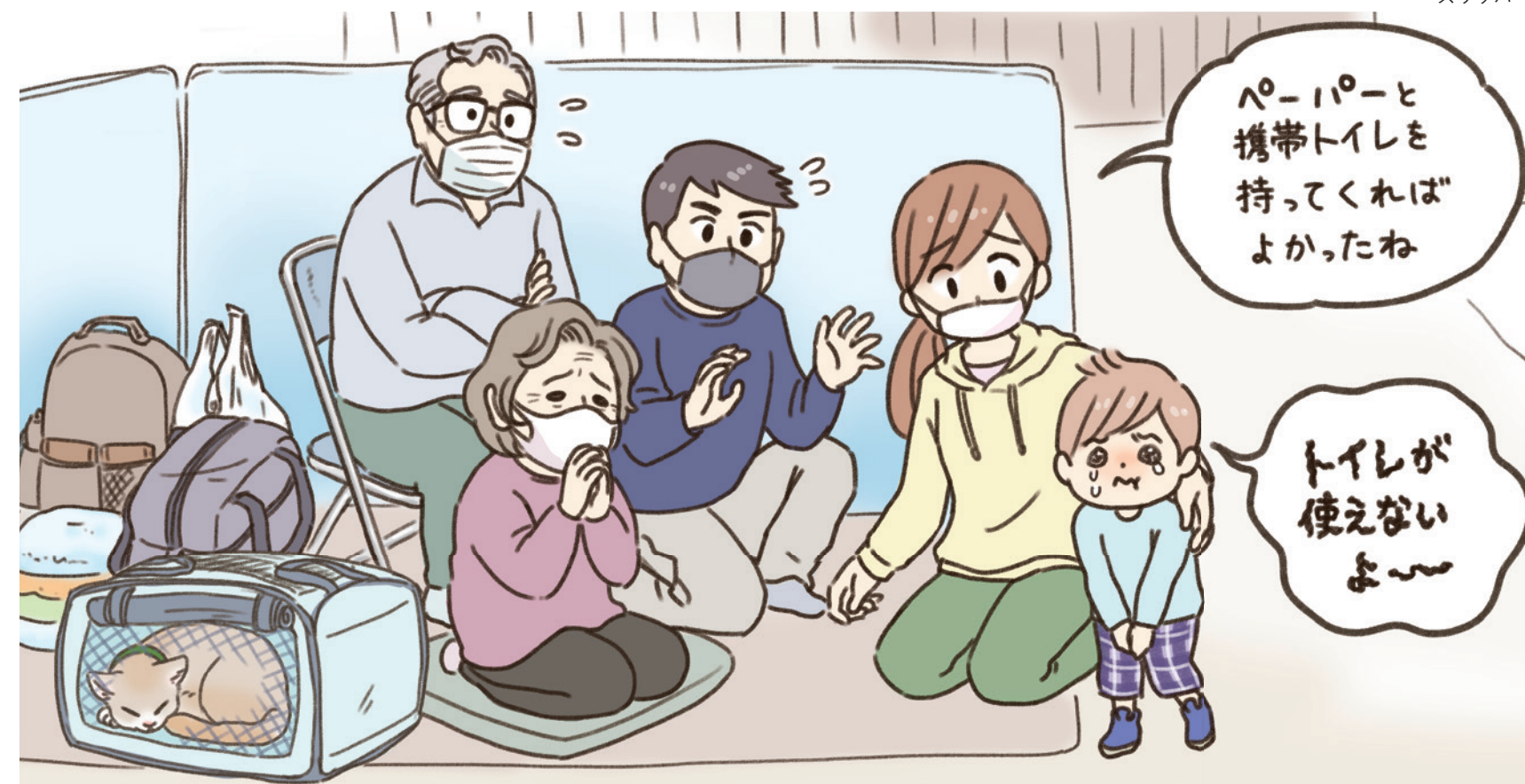


### 避難所でのストレスを減らす工夫を

小さな子どもは慣れない避難所で強いストレスを感じ、ぐずったり、赤ちゃんで返りしてしまう子もいます。子どもが安心できるもの、楽しめるものを用意しましょう(遊ぶ際には音や光で周囲に迷惑を掛けないように気を付けましょう)。また、家族の健康を守り、感染への不安を減らすため、感染予防グッズもご用意を。

### いつもの避難グッズに「感染予防」をプラス

- ・消毒薬
- ・体温計
- ・スリッパ
- ・マスクの予備
- ・除菌ウエットシート



### 避難所でトイレが使えない!

地震や水害では、上下水道のトラブルで避難所のトイレが使えなくなったり、汚れすぎたり、トイレが詰まって使用禁止になることがあります。避難袋に「携帯トイレ」を常備し、持参しましょう。市販の携帯トイレがオススメですが、最悪の場合は丸めた新聞を入れたビニール袋などでも代用できます。また、持病の薬を持たずに避難して後で困る方も多く、一人一人の必需品やその予備などを避難袋に用意しましょう。

### 避難時に忘れると不便なもの(例)

- ・携帯トイレ
- ・トイレトペーパー
- ・持病の薬、お薬手帳(お薬手帳アプリもオススメ)
- ・携帯電話の充電器
- ・予備の眼鏡
- ・補聴器などの電池
- ・コンタクトの洗浄液とケース
- ・ゴミ袋などに使うビニール袋(多めに)



### 在宅避難が可能な「3つの条件」

屋内の安全確保ができていれば、浸水の危険があっても避難所などへ移動せず自宅にとどまることが可能です。そのためには、ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認しておきましょう。

- ① 「家屋倒壊等氾濫想定区域」に入っていない
- ② 浸水深より居室が高い位置にある
- ③ 水がひくまで我慢でき、水・食料などの備えが十分ある

※ハザードマップへの記載がない場合は居住地の市町村へ問い合わせを

### 全国で開催 赤十字防災セミナー

各都道府県支部が実施する「赤十字防災セミナー」では、災害時に予想される被害や救助活動、避難生活などの課題を具体的にイメージしながら、命を守る方法をそれぞれの地域に密着した形で学ぶことができます。カリキュラムの1つ「災害への備え」には、**昨年の豪雨災害の経験をもとに、熊本赤十字病院が監修した「感染症から身を守る」という項目も追加されました**。コロナ禍で避難生活をするうえで必要な情報が盛り込まれています。



※赤十字防災セミナー開催状況等の詳細については、最寄りの各都道府県支部へお問い合わせください



# TOPICS 大阪 コロナ重症センターで働く 日赤看護師

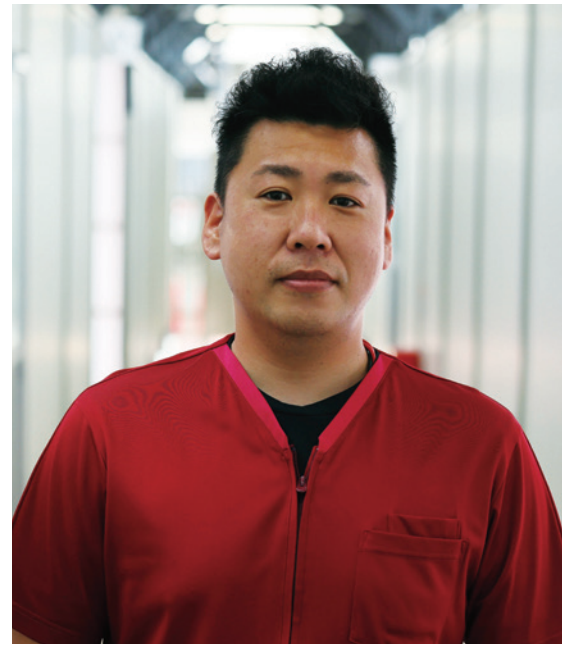
感染拡大により病床が逼迫した大阪で、重症患者を専門に受入れる臨時の医療施設が「大阪コロナ重症センター」です。看護師の不足を補うために全国各地から派遣され、今後も派遣が予定されています。その中には、日赤看護師の姿も…。同センターに勤務する日赤看護師の声を紹介します。

## 「患者さんを助けたい」その一念で富山から大阪へ

「富山ではDMAT(災害派遣医療チーム)にも所属しています。いつでも出動できるようにとDMAT訓練にも参加してきましたが、コロナ禍で訓練さえも中止に。そんな中、大阪のコロナ重症センターから看護師派遣の要請が来ると知り、迷わず派遣を希望しました。実際に現場に入って驚いたのは、集まった看護師の意識の高さです。みんなが『患者さんのために』という強い意識を持っており、普段は味わえない良い刺激をたくさんもらいました。

新型コロナウイルスの患者さんをケアしていて悔しいと感じるのは、昨日まで回復に向かっていただけの方が、翌日から急激に容態が悪化し、最悪の場合はそのまま亡くなってしまいます。回復を願って精いっぱいケアを続けてきて、会話もできるようになっていただけの方が、なぜ…。やり切れなくなります。一方で、意識不明で運ばれてきた方が、歩行器を使って歩けるまで回復した姿を見ると、勇気が湧いてきます。つらいこともあるけれど、看護師の仕事は、患者さんから力をもらっていると実感します。

僕は前職を辞めて看護学校に入り直し、その後准看護師として介護施設や病院で働きながら正看護師の資格を取りました。看護師になろうと決意したのは、兄がDMATの看護師として活躍している姿を見て、自分も困っている人を助けに行きたい、という気持ちが抑えられなくなったからです。日赤に勤めてよかったと感じるのは、富山にいても大阪に助けに行けること。他の病院だと、助けに行きたくてもなかなか動くことができません。全国に赤十字病院のネットワークがあり、救護活動を使っているから、災害が発生したときの瞬発力がある。これこそ赤十字の強みですね」



富山赤十字病院 看護師 塩原潤さん



意識のない重症患者のケアを行う塩原さん(右)

写真：渋谷敦志

今日から初参加  
少しでも力になれば…



(上)初めてコロナの重症患者の病床が並ぶ「レッドゾーン」に入った朝倉さん(左端)、(下)防護服を脱ぐ際に感染しないように研修を受ける朝倉さん

「高知ではICU勤務でしたが、これまでコロナ患者さんを見ることはありませんでした。今日、研修で防護服の着方を学び、いざレッドゾーンに入るという瞬間に『いよいよ』と実感が湧いてきました。私は広島赤十字看護大学を卒業しましたが、これまで赤十字の精神を意識したことはありませんでした。大阪の重症センターへの派遣希望を出したとき、上司の看護師長から『行く決断をしてくれてうれしい。それこそ赤十字の精神よ』と言われて、改めて赤十字の役割について考えました。

重症センターで働くことに不安はありません。感染を防御する方法を徹底すれば大丈夫、と分かっている。ただ、これまでのICU勤務と違い、より近くで患者さんに寄り添うのが難しい現場なので、日々手探りでも、患者さんのためにできることを見つけていきたいと思っています」



高知赤十字病院 看護師 朝倉早紀さん



大阪コロナ重症センターの様子、今回のインタビュー動画をご覧いただけます(7月中旬に公開予定)

## 全国からのサポートに感謝

大阪コロナ重症センター 看護師長 古根川綾子さん



この重症センターの看護師は、自ら手を挙げて参加されている方がほとんどです。日赤さん含め、全国から大阪に来てくださって、本当に感謝しています。重症患者を看るといことは、看護師としてつらいことも数多く経験します。それでも、ここにいる看護師は驚くほど高いモチベーションで、患者さんのために何が出来るか模索し、努力を続ける。看護師たちは、慣れない環境の中、センターと宿泊施設を往復する自粛生活を続けながら、患者さんの回復という喜びを糧に、頑張っています。

## わたしも赤十字

今月の表紙

赤十字にはさまざまな形で赤十字の活動に参加する支援者がいます。全国の支援者の中から毎月一人を、温かいメッセージと共にご紹介します。



寄付の協力者 あいざわまさお 相沢正雄さん 群馬県伊勢崎市/30歳/会社経営

こんな時だから、誰かのためにという「流れ」を作り出したい

私はペルー生まれの日系3世です。8歳の時に家族と来日し、その後永住権を取得しました。現在、ペルーやブラジルなどの外国人が多く住む伊勢崎市で、スペイン語やポルトガル語、英語などの多言語対応による自動車販売、保険事業、不動産業を展開しています。来日当初は日本語を話せず苦労しましたが、たまたま同じクラスにいたブラジル人の子やスペイン語が話せる先生に支えてもらい、必死にコミュニケーションを取り、両親よりも日本語が上達しました。そうした自分の経験から、外国人が日本で安心して暮らせるようにサポートしようと起業したんです。言葉の壁の不安が分かるからこそ、医療通訳や行政手続き、情報発信など業務外のサポートにも無償で取り組んでいます。おかげで、相沢さんのところなら、と口コミでお客様が増えています。

会社が5周年を迎えた昨春はコロナ禍に突入した直後。業績は苦しかったけれど、地域社会へ感

謝の気持ちを示したかったので寄付先を探しました。赤十字はペルーにもあり、外国籍の仲間に相談したら「レッドクロスなら賛成!」と。自分でも日赤のホームページを見たり、活動を調べたりして「人のために活動している組織だ」と納得し、寄付しました。コロナ禍で多くの人が悩みを抱えています。しかし、悩みを聞き、思いを共有することで心の距離が縮まるという経験もできました。悪いことばかりじゃない。こんな時こそ多くの人に「人のためになる」流れに乗ってほしいと考え、寄付のことも周りに発信しています。

## 寄付するあなたも赤十字です

- クレジットカードで寄付
- 郵便局・銀行の口座振替
- 郵便局・銀行の窓口
- お近くの日本赤十字社窓口



# 東大脳に挑め!

知識を深める赤十字QUIZ

出題 東京大学クイズ研究会(TQC)

知ってるつもりでも、意外と知らない赤十字のこと。東大クイズ研が手掛ける問題にあなたは正解できる!?

## 今月のクイズ

難易度：★★★

次の文章を読み、【 】内に入る言葉をそれぞれ答えてください。

シント  
この地域では昭和39年にも大きな地震災害の被害がありました

平成16年に震度7、同19年に震度6強の大地震に見舞われたのは【あ】県です。こうした大災害で、日本赤十字社は、被災地に派遣した医師や看護師などによる【い】救護や、毛布や安眠セットなどの【う】の配分を行います。





# AREA NEWS

全国各地  
あなたの生活のすぐそばで  
日本赤十字社の活動は行われています。

## 東京都 「葛飾赤十字産院」が移転、 新生施設内には公立図書館も

6月1日、68年の歴史を持つ葛飾赤十字産院が区内で移転し、「東京かつしか赤十字母子医療センター」として生まれ変わりました。周産期医療の機能強化、災害対策の強化とともに、病室の全室個室化や「和レトロ」な建物デザインによる、快適な環境の提供にも力を入れています。施設内に併設の「葛飾区立にいじゅく地区図書館」とも連携し、母子をサポートしていきます。



和レトロをコンセプトに建物全体をデザイン、安らげる空間に

### 東大問題に非難! クイズの答え

#### 【あ】新潟 【い】医療 【う】救援物資

平成16年には新潟県中越地震、平成19年には新潟県中越沖地震が発生しました。災害が発生した際には、日本赤十字社は医療従事者を派遣し医療救護にあたるほか、避難した人のために毛布や緊急セット(ラジオや懐中電灯)、安眠セット(枕やアイマスク)といった救援物資を配分します。こうした活動を実施するための資金は、会費や寄付金などによって支えられています。

## 北海道 落雪に埋まった少女を救助 救急法指導員を表彰

記録的な大雪に見舞われた昨シーズンの岩見沢市で、日赤北海道支部の救急法指導員・星功さんが落雪に埋まってしまった少女を救出し、日本赤十字社から表彰されました。星指導員は叫び声を聞いていち早く駆けつけ、首から下が雪の中に埋まった少女を救出。救急法の知識を生かしてけがの確認をしながら、救急車の到着まで少女に付き添いました。



冷静に対処できたのは救急法講習のおかげと語る星指導員

## 愛知県 2つの病院が連携し 日赤愛知医療センターが始動

7月1日、「名古屋第一赤十字病院」と「名古屋第二赤十字病院」は一体的な運営を行うため病院名を「日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院」と「同 名古屋第二病院」に改称します。両院が互いの機能や強みを生かして、さらに高機能的な医療で地域に貢献。平時の地域医療だけではなく、災害時には医療救護活動の拠点としても使命を全うしていきます。



(左から)名一 錦見尚道院長、名二 佐藤公治院長が大村秀章知事に報告

## 千葉県 病棟でバーチャル遠足! たくさんの魚たちを觀賞

4月27日、成田赤十字病院の小児科病棟では「バーチャル遠足」を開催。NPO法人の協力のもと、沖縄県にある「美ら海水族館」とオンラインでつながり、病棟のスクリーンには水族館の大きな水槽で泳ぐジンベエザメやマンタの姿が。子どもたちは目をキラキラ輝かせながら觀賞していました。病院から遠く離れた場所への院内「遠足」は今後も続く予定です。



スクリーンのほか、病室の子どもたちもタブレットを使って参加

## 岡山県 献血車が消防学校を訪問 新人隊員も献血で人助け

岡山県赤十字血液センターの献血車が県内の消防学校を訪れ、新入隊員たちが献血に協力しました。当日は同センターの担当者が新型コロナウイルス感染症の影響で献血の協力者が減少している現状などを説明。その後、参加者は問診を受けてから献血車に乗り込み、この春に消防職員として採用されたばかりの隊員や消防学校の教官ら40人が献血に臨みました。



参加者からは「人助けのいい機会になった」という声も 写真:毎日新聞社

## 長野県 こいのぼりや柏餅でお祝い! 松本赤十字乳児院で端午の節句

松本赤十字乳児院で、5月の端午の節句のお祝いがありました。同院は家庭で養育することが困難な乳幼児をお預かりし、育児相談などの子育て支援も行っています。お祝いの席にはこいのぼりや兜が用意され、職員が「かっこいいね」と声掛けすると子どもたちも笑顔に。童謡の「こいのぼり」を歌ったり、栄養士が手作りした柏餅を頬張ったり、楽しいひと時となりました。



こいのぼりに負けたくないくらい大きくなろうね!

## 長崎県 雲仙・普賢岳の大火砕流から30年 防災セミナーに子どもたちも参加

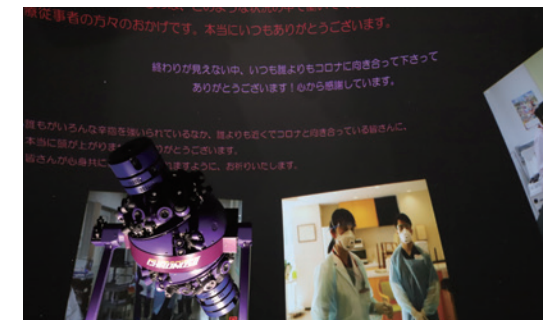
1991年6月3日に発生した雲仙・普賢岳大火砕流から30年の節目に、日赤長崎県支部は「防災フェス6.3」を開催しました。当時の救護活動のパネル展や動画上映を通じて災害の「風化防止」と「防災・減災」を啓発。また、日赤長崎原爆病院内の託児所「キッズクロス保育所」の子どもたちや保育士を対象に防災セミナーを開き、地震や大雨などの災害発生時の行動について学びました。



防災について学ぶ子どもたちの表情は真剣そのもの

## 岡山県 プラネタリウムの星空に浮かぶ 医療従事者への応援メッセージ

コロナ禍で活動する医療従事者に感謝の気持ちを伝える映像が、岡山県の生涯学習センター「人と科学の未来館サイピア」のプラネタリウムで上映されました。この映像は日赤岡山県支部の協力で同センターが制作したもので、患者に向き合う医師や看護師らの写真とともに、県内の大学生などから寄せられた医療従事者への感謝のメッセージを紹介しています。



上映時には医療従事者も招待され、応援メッセージを見つめた

## 宮崎県 学生と警察本部がタッグを組んで 献血と交通安全をダブルPR!

4月、宮崎県警察本部が宮崎県学生献血推進協議会に「春の交通安全運動」出発式の宣誓を依頼。加えて1年間の交通安全啓発活動を委嘱した関係で、学生たちは学校献血の会場で交通安全のPR、県警は会場上空からヘリで献血PRを行う、という新しい連携が誕生。5月の「こいのぼり献血」も地元のテレビで紹介されるなど、珍しい取り組みに注目が集まっています。



献血も交通安全も人々の健康と安全を守る大切なもの

### 常任理事会開催報告

令和3年6月24日、令和3年度第3回の常任理事会が開催されました。

- 1 理事会に付議する事項について(日本赤十字社幹部看護師研修センター規則等の一部改正)
  - 2 理事会および第98回代議員会に付議する事項について(役員選出、令和2年度事業報告及び収支決算の承認)
  - 3 審議の結果、上記1については理事会に、上記2については理事会および第98回代議員会に、それぞれ付議することが了承されました。
- また、栗山赤十字病院施設整備計画、パレスチナ・イスラエルおよび南アジアにおける人道危機と赤十字の対応、名古屋第一赤十字病院および名古屋第二赤十字病院の名称変更、予算の補正にかかる社長専決事項等の決定状況について報告しました。

※オンラインによる開催となりました。

### 理事会開催報告

令和3年6月25日に開催予定だった理事会は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オンラインにより開催しました。その結果は下記のとおりです。

- 1 規則の改正について(日本赤十字社幹部看護師研修センター規則等の一部改正)
  - 2 不動産の処分について(芳賀赤十字病院)
  - 3 第98回代議員会に付議する事項について(役員選出、令和2年度事業報告および収支決算の承認)
- 審議の結果、上記1および2については原案のとおり議決され、上記3については原案のとおり第98回代議員会に付議することが了承されました。

## 全国 幸せを願う、すずらんの花 やさしい気持ちを込めて…

日本赤十字社は毎年恒例の「しあわせの花 すずらん」贈呈式を5月26日に実施しました。この活動はANA(全日空)グループの客室乗務員の方々が全国の赤十字病院などを訪れ、すずらんの花と香り付きしおりを手渡しするという社会貢献活動の一環。66回目を迎える今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため各地への訪問は取りやめ、日赤本社で贈呈式を行いました。



花としおりは全国51カ所の赤十字施設へ届けられる

# ニッポンの赤十字ゆかりの地を巡る vol.4 赤十字名所紀行

## 日本赤十字社災害活動の碑 (福島県耶麻郡)

### 福島・磐梯山の大噴火。国内初の災害救護の記念碑

1888年(明治21年)7月15日、磐梯山の大噴火により土砂や火砕流が押し寄せ、ふもとの地域では500人\*以上の死傷者を出す大惨事となりました。日本赤十字社は医師3人を送りこみ、昼夜を問わず被災者救護にあたりました。平時の災害救護活動は、当時、各国でもほとんど行われていなかったことから、先駆的な例として国際的な注目を集めました。そもそも日本を含め世界の赤十字の救護活動は戦地における傷病者の手当て(戦時救護)を目的としており、自然災害に対する規定はありませんでしたが、昭憲皇太后(当時、皇后陛下)の思召しにより、初の戦争以外の救護活動が実現したのです。平成元年、毘沙門沼のほとりに噴火百周年記念として、碑を建立しました。

\*日本赤十字社史稿(明治44年)による



記念碑には活動中の日赤救護員を模したレリーフが埋め込まれている

先人の救護への情熱と偉業をしのぶ記念碑

写真提供: 裏磐梯観光協会

## 「赤十字を応援!」プレゼント パートナー企業紹介 vol.16 鳥山畜産食品株式会社



### 人にも、社会にも、優しい取り組みを大切にしたい



地域貢献・地域共創型ビジネスとして、サステナブルな生産事業に挑戦し続けている

1948年に創業した鳥山畜産食品株式会社は、消費者へおいしく安全な牛肉をお届けするため、肉牛生産(鳥山牧場)と食肉加工販売(鳥山畜産食品)と、グループ内で生産から販売まで一貫して取り組んでいます。牧場で出る堆肥を使い無農薬で米を育て、糞は牛の飼料に。循環型の商品づくりにこだわっています。また、こうして育った米「小松姫」は世界最大のお米鑑定コンクールで6年連続受賞するなど、味でも高い評価を獲得。それらの商品で地域活性に貢献しています。社会に貢献する「想い」も大切にしており、コロナ禍では国産食物を食べることを応援する「元氣いただきますプロジェクト」にも参加、生産者への応援を広く呼び掛けました。もともと、先代から赤十字への寄付が行われていたが、「苦しんでいる人を救いたい」という思いで活動する赤十字に共感し、現在も支援を継続、先代の夫人も地域赤十字奉仕団の委員長として活動するなど、企業としてだけでなく家族ぐるみの支援が続いています。

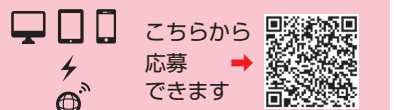
赤城牛カレー  
ゴールドタイプ(中辛)  
+小松姫バックご飯のセット



赤城牛ならではの旨みが自慢のレトルトカレーと「愛賞米」ご飯を各5個セットで(常温保存品) 商品写真はイメージです

上記プレゼント希望者は、以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・WEBでご応募ください。①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤赤十字NEWS 7月号を手に入れた場所(例/献血ルーム) ⑥7月号に関するご意見・ご感想

郵送/〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3  
日本赤十字社 広報室 赤十字NEWS 7月号プレゼント係  
FAX/03-6679-0785 WEB応募/右の2次元バーコードから応募ください。  
7月30日(金)必着 ※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます

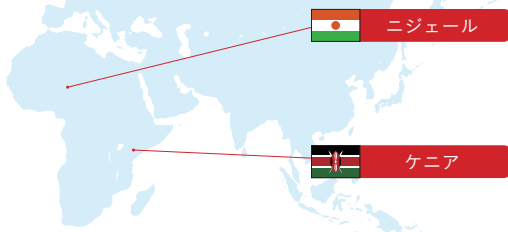


こちらから  
応募  
できます



# WORLD NEWS

国際赤十字のメンタルヘルス支援



2020年の世界自殺予防デーにキャンペーンを行うケニア赤十字社のスタッフとボランティアたち

## コロナ禍の「絶望」に向き合う力を

コロナ禍で大切な人や仕事を失った…世界中にあふれる悲しみや苦しみにどう向き合うか。今回は、人々の心の健康を支援する、海外赤十字社の活動をご紹介します。

### 麻薬や犯罪に手を染める若者に寄り添い 彼らの不安や恐れを和らげる

各国の赤十字・赤新月社は、COVID-19まん延初期の2020年初頭から人々のメンタルヘルスへの影響に注目し、これまでに870万人\*以上の人々に支援を提供してきました。地域に根差した赤十字だからできる、人々の悩みや苦しみに寄り添い、コロナに立ち向かう力を育む活動が各地で展開されています。

ケニア赤十字社の活動もその一つです。コロナ禍におけるメンタルヘルス活動を政府から委任された同社は、若いボランティアを中心に、特にスラム地域における若者に対するメンタルヘルス支援活動を展開しています。スラムに住む若者のほとんどは定職がなく、非正規労働者として働いていましたが、コロナ禍で失業し、麻薬に溺れたり、犯罪に手を染めたりしてしまうケースが続発しました。赤十字ボランティアは、世界自殺予防デーに啓発活動を行ったり、COVID-19に関する誤った情報や迷信に惑わされないよう呼び掛けたり、スラムに住む若者たちと積極的にコミュニケーションを取り、不安や恐れを和らげられるように寄り添う活動を展開しました。

\*2021年3月時点

### 「尊厳ある埋葬」活動と遺族への支援

COVID-19で家族を失うことは、感染予防の観点から遺体への接触が制限されるなど、通常の死別とは異なる状況をもたらしています。このため、遺体の埋葬、またその遺族の気持ちに寄り添う支援も大切です。

ニジェール赤十字社は初期の段階からこの重要性に気づき、保健省と連携して「安全で尊厳ある埋葬(“Safe Dignified Burials”の頭文字をとって“SDB”）」のためのボランティアチームを結成しました。このチームはCOVID-19で亡くなった方の特別な埋葬方法だけではなく、遺族に接する際に必要となる心理社会的支援の研修も受けています。

ニジェール国民の多くが信仰するイスラム教において、本来ならば遺体はコーランの定めによって洗い清められ、清潔な白い綿の布で全身を包まれ、家族を含めたイスラム信者のグループ単位で土葬が行われます。イスラム教の考えでは、死は生の終焉ではなく、復活の時を待つものとされ、火葬が許されていません。しかし、COVID-19で亡くなった方は、感染予防の観点から信仰に基づく葬儀の大半が許されず、遺体は清められることなく袋

に入れられ、消毒薬を散布した上で土葬されます。

信仰心のあつい人々にとって、これほどつらい別れは他にありません。こうした事態を受け、訓練を受けたニジェール赤十字のSDBボランティアが最期の時を共に過ごせない遺族の悲しみに寄り添い、可能な限りでの尊厳ある埋葬を支援するほか、COVID-19に伴う差別・偏見に由来する不安など、遺族のさまざまな感情を受け止め、人々に寄り添う活動を展開しています。これにはボランティアによる遺族の家屋の消毒も含まれ、物心両面から人々の安全・安心を取り戻すための活動を行っています。

COVID-19の感染予防のための「ソーシャルディスタンス」は常識となりました。しかし、感染予防の意味での正しい表現は「フィジカルディスタンス(身体の物理的な距離をとること)」であり、それとは反対に人々のこのころの健康のためには「ディスタンス」ではなく「寄り添うこと」が欠かせません。赤十字はこれからも人々のメンタルヘルスのサポートにも努めていきます。



COVID-19で亡くなった方の家屋を消毒するニジェールの赤十字ボランティア



右側の背番号「8」の選手がハイサムさん(2019年撮影) © Alyona Synenko/ICRC

## 赤十字、世界の「現場」から

supported by ICRC

赤十字国際委員会(ICRC)が展開する紛争地での保護活動や避難民支援。その活動現場で切り取られた、知られざる世界の姿、世界の課題。

2018年3月31日、イスラエルとガザの国境で起きたデモで、当時19歳のハイサムは片足を失った。失意の中にいた彼はアンプティサッカー(amputee soccer = 切断者サッカー)チームに参加。前向きに生きる力を得たがコロナ禍で練習が困難に。今年5月、11日間のガザ攻撃で隣家が爆撃を受け、避難を余儀なくされた。

続きは  
WEBで  
→



繰り返される戦闘や混乱で、ガザの人口200万のうち約1600人が腕や足を切断された(2019年当時)。コロナ禍前から封鎖が続き、経済状況や物資調達に困難なガザの失業率は約5割。特に就業が困難な障害者に対してもICRCは融資をし、起業をサポートしている。